

ごはんについて考える

熊野第四小学校 六年 荒谷 由来

朝起きると、台所からごはんを炊く匂いがしてきます。お母さんが作ってくれる炊きたてのごはんは、一粒一粒がつつやと光っています。口に入れると、ほんのり甘くて、もちもちした食感が最高です。

ぼくは家族三人で食べるごはんの時間、特に晩ごはんが大好きです。一日の中で一番楽しい時間だからです。お父さんは仕事の話

お母さんは今日あった面白い出来事、ぼくも学校であつたことを話します。時には、お父さんが子どもの頃の話をしてくれることがあります。

お母さんはいつも「お米一粒一粒には農家さんの苦労が詰まってるから、残さず食べなさい」と言います。テレビで見る稲刈りや田植えの作業はとても大変そうで、農家の人たちが暑い日も寒い日も手間ひまかけて育ててくれていることがわかります。そうして作

られたお米を食べられることに、ぼくは感謝しなければと思います。

でも、去年から今年にかけて、その大切なお米に大変なことが起こりました。「令和の米騒動」です。ニュースで「お店からお米が消えた」と聞いたときには、本当に驚きました。

お母さんと一緒にスーパーに行ったとき、お米売り場の棚がからっぽでした。いつもなら何種類ものお米が並んでいるのに、「品切れ」の紙だけが貼ってありました。お母さんも心配そうに棚を見つめていました。

ぼくは、家に帰ったとき、なぜこんなことが起こったのか調べました。猛暑や水不足による収穫量の減少や農業をする人口の減少が背景にありました。そこに地震のニュースが重なり、「食料が手に入らなくなるかもしれない」を心配した人たちが、普段は一袋だけしかお米を買わないのに、何袋も買いためするようになったため、あ、という間にお米が

なくなっ てしまっ たよう です。また、外国
観光客が増え、飲食店の需要が高まっ たこと
も原因 です。

今、お米の値段は以前の倍近 くに なっ てい
ます。

この経験から、ぼくは食べ物 を無駄 にして
はいけないと強く思うよう になりま した。以
前はごはんを残すこともありま したが、今は
一粒残らず食べるよう にして います。「いた
だきます」と「ごちそうさま」のあいさつも、
心を込めて言うよう になりま した。

ぼくは、これから、感謝の気持ち を忘れ
れずに、毎日のごはんを大切に していきたい
です。